ひとつの素材から、
無限の表情へ。

時を纏い、空間に個性を刻む。
鍛冶場から生まれた、唯一無二の左官材。

土佐打刃物の鍛冶場から生まれた「鍛冶黒」は、
土塊を思わせる野趣あふれる質感と、
鉄を含んだ重厚な佇まいが特徴の特殊左官材です。

その魅力は、仕上げ方によって多彩な表情を生み出せること。
塗り方や研磨などの表面処理によって、
異なる質感や表情を自在に引き出すことができます。

また、鉄などの金属や硬質な砥石を内包することで、
堅牢性にも優れた仕上がりを実現。

産業廃棄物の再利用という枠を超え、素材そのものが持つ特性を、
新たな意匠価値へと昇華させる、これまでにない左官材です。

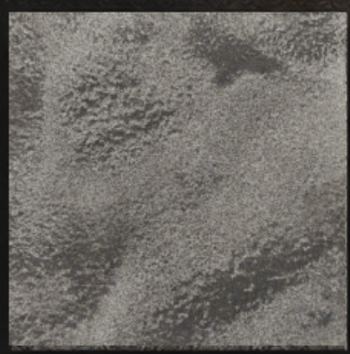
FINISHING VARIATIONS

SUMIKURO



墨を思わせる素材本来の黒、
土塊感のある野生的な質感。

MIGAKI #200



研磨によって引き出される、
鉄の質感と重厚な陰影。

MIGAKI #800



深みのある艶と、
洗練された表情を纏う。

SABI FINISH



錆色が溶け込むように広がり、
時の深みと侘び寂びを感じる。

鍛冶場に受け継がれてきた伝統と素材を、新たな価値へ。
KAJIKURO — MATERIALS WITH A STORY.

OFFICIAL WEB SITE